

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート  新規  継続  
( 事業 委託 補助用 )

## I 基本事項

整理番号 349

事業名	空床確保負担金		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	健康福祉部	保険課		款	民生費・3款
電話	0799 - 44 - 3003			項	社会福祉費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	なし	目	福祉医療費・4目
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務				
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	安らぎづくり_元気あふれ_住んで快適なまちづくり_			
	まちづくりの目標	延ばせ健康寿命_【健康】			
	施策目標	健康増進や予防などに関する意識を高め、信頼性の高い医療・救急医療が受けられる仕組みを整える			
該当する事業について「 」を選択		施策的	事業	業務委託	負担金補助

## II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に)			
		平日夜間時の急病、負傷者	対象人数(人)		
			53,374		
		意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)			
		平日夜間時における住民への医療を確保するため、病院・診療所間の連携のもとに市内5病院が輪番で時間外診療体制を構築し、緊急事態に対処する。また、輪番日にあたった各病院は、高齢者等で緊急入院を必要とする者及び一時的に医療の管理下におく必要のある者のための入院用ベッドを確保する。			
実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか)				
	1 診療時間帯	平日の夜間(土曜日を含む)	18時~23時		
	2 対応	診療(入院)及び電話対応	空床確保		
	3 その他	祝日等休日応急診療所の開設日は除く。			
	4 診療病院	月曜日 平成病院	火曜日 平成、八木病院		
		水曜日 中林、南淡路病院	木曜日 翠鳳第一病院		
		金曜日 中林病院	土曜日 翠鳳第一病院		
背景	(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など)				
	平日夜間の患者が集中している県立淡路病院。その現状からの脱却を目指し、地域住民に与える「安心感」、夜間に医療を求めて困る事態の解消、消防署など搬送機関も受け入れ病院との連絡調整の手間が省け、病院収容までの時間的なロスを減らすことができると、医師会を中心に議論を重ね、平成11年度に旧三原郡四町や関係機関とともにつくる三原郡保健医療福祉連絡協議会が「病院郡輪番制」を島内初導入した。				
事業実施主体	<input type="checkbox"/> 市直営	<input checked="" type="checkbox"/> 民間・その他 ( 病院 )			
事業期間	<input type="checkbox"/> 平成	年度	~	平成	
				年度 <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし	
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)				
	<input type="checkbox"/> 旧緑町	<input type="checkbox"/> 旧西淡町	<input checked="" type="checkbox"/> 旧三原町	<input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から	

## Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

「実施内容」により得られる活動結果指標 (アウトプット)	指標名	確保数				指標単位
						床
	指標説明 (指標算出方法等)	市内5病院でのベッド確保数				
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	目標値	417	417	417	360	
	実績値	337	350			
	達成度 (%)	80.8	83.9	-	-	
	目標値設定の考え方	年間ベッド確保数 8床/週×52週 実績値は、年間確保予定ベット数から緊急入院により使用したベット数を除いた数とする。				
アウトプットにより達成される「目的」に対する事業の成果指標 (アウトカム)	指標名	ベッド使用数				指標単位
						床
	指標説明 (指標算出方法等)	市内5病院でのベッド使用数				
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	目標値	0	0	0	0	
	実績値	54	54			
	達成度 (%)	-	-	-	-	
	目標値設定の考え方	緊急入院が少ないことが成果と考えられるため、ベッド使用数がゼロとなることを目標に設定する。				
資源配分 (インプット)		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	直接事業費 (千円)	1,614	1,676	2,000	1,725	
	空床確保負担金	1,614	1,676	2,000	1,725	
	財 源 (千円)					
	国					
	県					
	起債					
	その他					
	一般財源[A]	1,614	1,676	2,000	1,725	
	人件費(正規職員)[B] (千円)	1,498	1,465	1,475	1,463	
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1	
	事業量1(事業に要した日数)	244	245	245	243	
	事業量2(事業に要した人数)	0.2	0.2	0.2	0.2	
	年間経費([A]+[B])	3,112	3,141	3,475	3,188	
	「目的」対象人数1人当り経費 (千円)	0.1	0.1	0.1	0.1	
受益者人数(54)1人当り経費(千円)	57.6	58.2	64.4	59.0		
経費に関する補足説明	4,790円(標準単価)×1床×8輪番日(1週)×45週(年間)=1,724,400円 標準単価は、痴呆疾患センター=[淡路病院の単価を適用]				1,725千円	

## IV Check (事業の自己評価・一次評価)

達成度		単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)
	活動結果指標目標達成度	%	80.8	83.9	-	-	
	(アウトプットの達成度分析、問題点・課題などを記入。) 急病、負傷者に備えるための輪番病院あたり1床のベッド確保である。						
有効性		単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)
	成果指標目標達成度	%	-	-	-	-	
	成果向上率	%	-	0.0	-	-	
(事業実施による目的に対しての有効性分析、問題点・課題などを記入。) 入院用ベッドの利用患者数年間54件であるが、達成された程度等は重要ではないものとする。						4	
効率性		単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)
	活動実績1単位当り経費	千円	9.2	9.0	-	-	
	効率性増減率	%	-	2.8	-	-	
(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 急病、負傷者に対しての空床確保であるが、過去の実績から週に8床の確保を見直し、コスト削減を図る必要がある。						3	
必要性	公共性の高低	<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低			自己評価 (5点評価)
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 平日夜間診療は、住民にとっての「安心感」であるため、益々高齢化が進む中で必要であると考えられるが、入院患者数から週8床の確保が必要であるのか分析し検討する必要がある。						
総合評価	自己評価をふまえた現状分析		<div data-bbox="821 1473 1388 2029" style="border: 2px solid black; padding: 10px;"> <p>評価グラフ</p> <p>達成度</p> <p>5 4 3 2 1 0</p> <p>必要性</p> <p>有効性</p> <p>効率性</p> </div>				
	住民が安心して暮らせるように、平日夜間診療は必要である。しかし、平成11年度「病院郡輪番制」を導入して以来、一度も見直しの協議はされていない為、10年目を期に関係機関と協議を持ち、今後の運営方針を検討する必要がある。						

## V Action&amp;Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input checked="" type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し
	平成17年度、18年度の実績、19年度の見込みを精査し予算計上する。	関係機関と協議を持ち、今後の運営方針について見直しを検討する。
(現状維持以外の改善方法)	住民の方々には、平日夜間に輪番で病院が診療をしていることを広くPRし、夜間に病院を求めて困る事態のないようにする。	火・水曜日のみ2床確保しているが、今後見直す必要がある。
改善によって期待される効果 (現状維持以外の場合)	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	必要数のベットは確保できているので、効果面では変わりはないと考える。	
	コスト面	コスト面
	予算削減につながる。	
(現状維持の場合も記入)	仮に事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)	
中止・統廃合の影響	マイナス面 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住民の日常生活上の不安有。</li> <li>・ 夜間に医療を求めて困る事態の発生。</li> </ul> プラス面 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 負担額の削減</li> </ul>	